

雑文化

単調なニュースを聞きながら
何と俺は詩を読んでいた
外では餓鬼どもがやかましい

何ということだ、この滅茶苦茶な流れは
狂人は首相の答弁にナイフで落書きをし
餓鬼どもは晩 の声に銀行を襲い

ああどうしたことだこのもつれ
ながら、ながらとこんぐらがる
ああもう御免だ、放っておけ

乳房の谷間に国債は増発されてままごととなり
三輪車のベルはインタビューに答えて^{さすらい}放浪の歌を作り
永遠は餓鬼どもの泣き声にこだまして閱兵を天に上らし

俺はやって来たのだ、太古の^{カオス}混沌の中へ
ところでこいつはどろどろじゃなく、悶えうごめく
太い、色とりどりの綱の掴み合いなのが見える

何ということだ、このもつれた様は
俺ひとりじゃ到底めんどうは見切れぬ、解けぬ
誰か来てくれ、蛇だ、蛇だ

(1982.4.24)